

自検協、平成30年版「わが国の自動車保有動向」を発表

平均車齢、平均使用年数ともに 過去最高を更新

自動車検査登録情報協会は10月22日、平成30年版「わが国の自動車保有動向」を公開しました。

それによると、2018年3月末時点での軽自動車を含む自動車保有台数は、前年同日時点の81,260,206台より302,895台多い81,563,101台でした。

そのうち乗用車は同じく331,606台多い61,584,906台となりました。さらに内訳を見ると、普通車が441,958台多い18,887,429台、小型車が400,141台少ない20,646,353台、軽四輪車が289,789台多い22,051,124台でした。一方貨物車は68,548台少ない14,382,846台となりました。

平均車齢^{*1}（軽自動車を除く）は、乗用車が8.6年で前年より0.07年長期化し、26年連続して高齢化するとともに24年連続で過去最高齢を更新しました。車種別では、普通乗用車が8.12年と前年より0.05年長期化（最高齢を4年連続で更新）、小型乗用車は9.03年で0.09年長期化（同27年連続で更新）しています。貨物車は11.41年（同26年連続で更新）と、いずれも過去最高齢となりました。

平均使用年数^{*2}（軽自動車を除く）は、乗用車が13.24年となり前年より0.33年長期化し、過去最高となりました。車種別では、普通乗用車が13.24年で同0.27年長期化、小型乗用車が13.23年で同0.36年長期化しており、いずれも3年連続で増加しています。一方、貨物車（軽自動車・被けん引車を除く）は14.72年で同0.35

年長期化し、6年連続の増加で過去最高を記録しています。

また、PHVを含むハイブリッド車の保有台数は前年より14.8%・970,134台多い7,539,094台、電気自動車（EV）は同23.7%・17,851増の93,145台となり、パワートレインの電動化が確実に進んでいることが示されました。

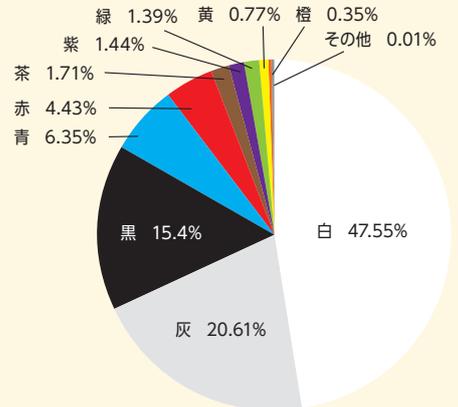
乗用車（軽自動車を除く）の塗色別保有台数は、白が18,798,140台・構成比47.55%で最多となり、次に灰（8,146,301台・20.61%）、黒（6,088,056台・15.4%）の順となりました。対前年比では茶が+4.17%、黒が+3.51%、赤が+3.48%伸びていた一方、灰（-3.9%）や緑（-3.5%）、黄（-1.66%）などの台数が減少していました。

^{*1}平均車齢：国内でナンバープレートをつけている自動車が初度登録してからの経過年の平均。

^{*2}平均使用年数：初度登録年度ごとに1年前の保有台数と比較し、減少した車両を1年間に抹消された車両とみなして、国内で新規登録されてから抹消登録するまでの平均年数を算出。ただし、減少台数には一時抹消も含まれるため、自動車が完全にスクラップされるまでの期間とは若干異なる。

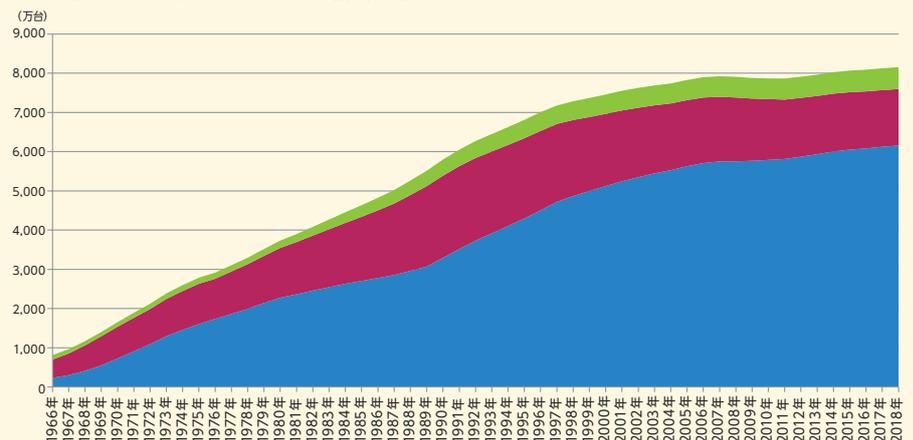
乗用車計の塗色別保有構成

（2018年3月末時点）



車種別の自動車保有台数推移

■乗用車 ■貨物車 ■その他（乗合車、特種(殊)用途車、二輪車）



工場ルポ

株式会社広川自動車工業

代表者：広川善教
所在地：北海道札幌市清田区平岡2条2-1-2

広川善教社長に工場の取り組みについてお伺いしました。

・工場の概要を教えてください。

私は学校卒業後、12年ほど大阪の車両販売会社で钣金・整備スタッフを務めました。その後地元の北海道に戻り、1978年に認証整備工場認可を取得し開業しました。開業当初は2人でしたが、現在のスタッフは钣金5人、塗装2人、整備8人、経理・事務の18人です。売上の比率は钣金3割、修理3割、車検3割、その他1割となっています。

・NGPリサイクルパーツの活用法は？

钣金だけでなく、車検・一般修理でもリサイクルパーツを紹介し、少しでもお客様の負担にならないように心がけています。品質保証が設定されているので安

心してお客様に紹介しています。

・ベルマークサポーター工場としての意気込みは？

ベルマークを事務所に設置されているベルマークボックスに入れるよう、スタッフ一同意識しています。

・工場の今後の課題や取り組み、展望な

どを聞かせてください

少子高齢化に向けて車が減っていく中で、現状を維持するためにまずは今のお客様を一番大切にしていきます。スタッフに対しては先進技術への対応はもちろん、お客様からの信頼を得られる仕事をこれからも続けていって欲しいと思っています。



広川善教社長（中央）とスタッフの皆様



有限会社山中車輛工業所

代表者：山中正志渡
所在地：北海道旭川市末広東1条1-3-6

山中正志渡社長に工場の取り組みについてお伺いしました。

・工場の概要を教えてください。

1968年に父が開業し、10年ほど前に私が社長に就任をして今に至ります。スタッフは钣金2人、塗装1人と私の計4人で運営しています。月間入庫台数は50台くらいです。直需が6割で残りが整備工場や販売店からの紹介となっています。

・NGPリサイクルパーツの活用法は？

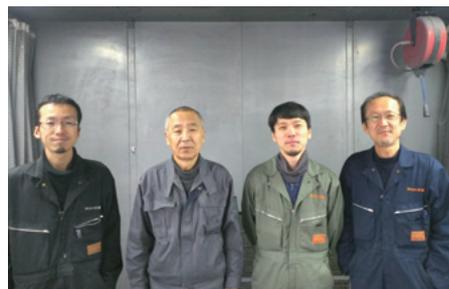
保険を使わないお客様や、保険で過失があるお客様などにリサイクルパーツのメリットを細かく説明をしています。NGPのリサイクルパーツはしっかりと管理されているので、信頼して使うことができます。

・ベルマークサポーター工場としての意気込みは？

イベントなどにも積極的に参加して当社とベルマークのアピールを行い、少しでも地域への貢献をしたいと思っています。

・工場の今後の課題や取り組み、展望などを聞かせてください

エーミングや新技術に対応するため、積極的に講習会は受けていくつもりです。そして、お客様の要望に応えられるように技術を磨き、安心して任せていただけるように頑張っていきたいと思っています。



左から山中貴廣専務、山中正志渡代表取締役、山中孝則工場長、山中義孝取締役



自動バレーパーキング機能実証実験を公開

日本自動車研究所（JARI）は11月13～15日、デックス東京ビーチ（東京都港区）で自動バレーパーキング機能の実証実験を行いました。

自動バレーパーキング機能とは、ADAS（先進運転支援システム）を搭載した車両と同機能向けに安全性が確保された駐車場、地図配信や駐車車両の走行・駐車位置などを制御する管制センターが連動することで、乗員が降車した後の駐車スペースまでの移動・駐車や、駐車スペースから乗車位置までの出庫を自動運転で行うシステムのことです。同機能の実現によって、ドライバーが駐車スペースを探す手間や乗降時における事故発生リスクの軽減、駐車場内ドア開

閉スペース削減による駐車可能台数増大などのメリットが見込まれています。

現在は国際標準化を目指して各国と調整を重ねており、2021年以降の実用化を視野に入れて開発が進められています。一方商業運行に当たっては、ASVの普及と同機能に準拠した駐車場の整備が課題とされ、巨額の設備投資が必要であると見られています。

経済産業省及び国土交通省から委託を受けて行われた今回の実証実験では、3台の車両が自動でステアリングを制御しながら隊列を組んで低速走行し、駐車スペースに自動で入庫の様子が披露されました。実証実験会場ではこのほか、車内のボタン操

作で駐車を開始する自動駐車システムや降車後にスマートフォンを操作して駐車するリモートパーキングシステムの体験コーナーも設けられました。



NGP組員 かわら版

労働災害の防止の仕組みを徹底し、労働者の福利厚生や組織の効率化を目指して NGP 協同組合、ISO 合同認証に労働安全衛生 (ISO45001) を追加取得

NGPIは、組員137社の内106社が取得しているISO一括合同認証に、新たなISO規格として制定されたISO45001（労働安全衛生マネジメントシステム）を2018年11月13日付で追加取得しました。

ISO45001は2018年3月12日に新たに制定されたISO規格で、安全かつ健康的な職場環境の構築、事故・労働災害及び病気の予防、継続的改善による労働安全衛生のパフォーマンスの向上を目指すマネジメント規格です。

NGPではISO45001の活用により、企業活動における労働安全衛生上のリスクを防ぎ、労災および労災によるロスを削減・軽減することはもちろん、組織全体で労働災害防止の仕組みを徹底し、労働者の福利厚生や組織の効率を向上させていく方針です。

NGPが認証を取得したISO規格は、組合全体の品質向上のための9001（品質マネジメントシステム）、環境保全を重視した経営を推進する14001（環境マ

ネジメントシステム）、お客様より預かりした大切な情報を保護するための27001（情報セキュリティマネジメントシステム）に続き4つ目となります。NGPはこれらISOマネジメントシステムに裏付けられた組合活動・企業経営により、自動車リサイクル事業を通して地域社会とお客様、さらにはすべてのステークホルダーの皆様のご期待にお応えする活動を推進してまいります。

ISO45001の認証取得を示す登録証



ISO一括合同認証の取得を主導した齋木崇司理事（右から2人目）、杉之間大和・総務広報委員会委員長（中央）、平野泰雄・同副委員長（右端）、伊地知志郎・同書記（左から2人目）、佐伯孝雄・同委員（左端）

NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

平成30年10月： **2,988t**

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含む）115品目を対象に算出した数値です。



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

平成30年10月： **2.4t**

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP組合員 かわら版

多田自動車商会、「三木金物まつり2018」に出展 被災地へ向けて 応援メッセージと義援金を募る

兵庫県三木市が主催する「三木金物まつり」が11月3・4日、同市役所前で開催され、今年もNGP組合員である(株)多田自動車商会(兵庫県三木市)が出展しました。好天に恵まれ、2日間で16万人を超える来場者が訪れています。

同社は廃車王のキャラクターを印刷した風船の配付やパネルの展示、テレビ

CMの放映などを行い、「廃車王」による廃車買い取りサービスを来場者へ強くアピールしました。

ブース内には廃車となった白いビートルを用意し、来場者に向けて西日本豪雨及び北海道胆振東部地震の被災地への応援メッセージの書き込みと募金を呼びかけました。ビートルの車体には子どもから大人まで多くの方から温かい応援メッ



セージが寄せられ、集まった募金は各被災地へ寄付しています。さらに毎年来場者に好評のエンブレム販売も実施し、それらの売上金は神戸交通遺児をみまもる会へ寄付しました。

日車協連・青年部会第8回全国大会に出席

VRを用いてNGPの組合活動をアピール

日本自動車車体整備協同組合連合会・青年部会(横岡摂樹部会長)は11月10日、ホテルマロウド筑波(茨城県土浦市)で第8回全国大会を開催しました。

午前中は「戦略構築サポートセミナー」と題して、(株)ディー・エヌ・エー・馬場光氏、カービジネス研究所・関友信氏、(株)杉戸自動車・泰楽秀一氏、(有)モトムラ・本村亨氏によるセミナーが行われました。午後からは主幹事からの発表や、各プロジェクトの発表などが行わ

れました。

今回は初の試みとして賛助会員によるブース展示が行われ、NGP協同組合はリサイクル部品の生産から出荷までの工程をVR(バーチャルリアリティ)で体験できる「VR自動車リサイクル工場見学体験」を展開しました。VRを初めて経験された青年部会の方々にも好評をいただき、リサイクル部品の徹底した品質管理体制に強い関心が寄せられました。

出展担当のNGP事務局担当者は「次



代の钣金塗装業界を支える青年部会の方々に、なかなかお伝えする機会のない自動車リサイクル工程をVRビデオを通してリアルにお伝えすることができた貴重な場になりました。今後も様々な活動を通じてより多くの方々に自動車リサイクルを紹介していきたいと思っております」と話しました。

プレゼントクイズ

Q. これは、
どの車種の一部?



■NGPニュースNo.331(2018年10月号)プレゼントクイズの正解はトヨタのプリウスPHVでした。福島県・静岡県・鹿児島県在住の方3名様に1万円相当のクオカードをお送りします。今後も奮って応募ください。

クイズに正解した方の中から、抽選で3名様にクオカード1万円分をプレゼント!

下記の応募用紙に解答と必要事項を記入して、FAXにて「プレゼントクイズ」係までお送りください。ご応募の締め切りは11月25日到着分までとさせていただきます。正解はNGPニュース2019年2月号にて発表いたします。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

「プレゼントクイズ」係 応募用FAX番号 03-5475-1209

解答	お名前	職業	電話番号	年齢	性別
				歳	男・女
住所：〒					
NGPニュースで取り上げてほしいテーマ：					

※ご記入いただいた内容は賞品の抽選・通知・発送のほか、今後の本サービスの参考とするためにのみ使用させていただきます。

訃報

30年11月5日、有限会社ツグダ自動車(石川県白山市)代表取締役 中島 育子様の御尊父様・同社会長 佃 利和(つくだ としかず)様をご逝去されました(75歳)。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

30年11月18日、有限会社大友自動車工業(宮城県名取市)代表取締役 大友 春夫様の御尊父様・大友 正一(おおとも しょういち)様をご逝去されました(享年96歳)。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp/

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
http://www.ngp.co.jp/